

■ じ が かくじゆう ひょうろん か
自我の拡充に生きた評論家

安成 貞雄

やすなり さだお

出身地 北秋田市（旧阿仁町）

1885年（明治18年）～1924年（大正13年）

小説家を目指すが、文芸評論ひょうろんに才能を開花させる。トルストイ研究から社会変革へんかくに目覚める。新聞記者を経て、大杉栄おおすぎさかえ、荒畑寒村あらはたかんそんらの雑誌『近代思想』の編集さんかくに参画する。



年譜

- 1885年 北秋田市あに（旧阿仁町）に生まれる。
- 1898年 県立第二中学校（現・大館鳳鳴高校おおだてほうめい）入学。
1期生。青柳有美あおやぎゆうびに学び文学に目覚める。
島田五空ごくうに接近、句作。
- 1909年 早稲田大学英文科卒業。二六新報よろずちようほう、万朝報、やまと新聞を経て、実業の世界社編集局長・主筆。
- 1912年 大杉栄おおすぎさかえ、荒畑寒村あらはたかんそんらの『近代思想』編集さんかくに参画。
- 1916年 『文壇与太話ぶんだんよたばなし』を出版。
- 1917年 総合雑誌『中外ざっし』に編集者として招かれる。
- 1924年 東京都で没。39歳ぼつ さい。